

## 台風19号の水害に関する農作物等の技術対策(第3報)

福島県農林水産部農業振興課

### 1 果 樹

- (1) 土砂の流入が5 cm未満で少ない場合は、根を切らない程度に地表面を軽く中耕しましょう。その際に堆肥や土壌改良資材を施用しましょう。
- (2) 土砂の流入が多い場合は、出来るだけ早く根の集中している株元半径2 m程度の土砂をスコップ等で取り除きましょう。また、土壌中の通気性、透水性を確保し根の活動を促すため、根を切らないように注意し、レーキ等で軽く土を起こしましょう。  
なお、園地内の土砂の撤去について、事業等の活用を検討している場合は、事前に市町村等に相談してください。
- (3) 主枝・亜主枝等に付着した泥は、できるだけ早く洗い落としましょう。
- (4) 泥水に浸かった果実は、疫病等による腐敗果となりやすく、食品衛生上の観点から摘果しましょう。また、摘果した果実は適切に処分してください。
- (5) モモの樹冠が浸水した場合は、枝梢枯死など被害程度をよく観察し、以下の平成10年8月の水害の際の影響調査等に基づく対応の目安により、総合的に判断しましょう。  
ア 樹冠の80%以上が長時間浸水した場合、枝梢枯死率が高くなり、翌年の樹勢衰弱が著しく改植が必要となる。  
イ 枝梢枯死率が70～80%の場合、翌年の結果枝不足及び樹勢衰弱が著しいため改植が望ましい。  
ウ 枝梢枯死率が50%程度の場合、樹勢や樹齢を考慮して改植が必要かどうか判断する。
- (6) 長時間浸水した園地では、翌春以降の樹勢低下のおそれがあるため、(1)や(2)の流入土砂対策を実施後、以下により樹勢回復対策を行ってください。  
ア 基肥(冬肥)はやや多めとし、翌春には追肥を行う。また、完熟たい肥等を施用し土壌物理性の改善を図る。  
イ モモの冬季せん定は、主枝・亜主枝及び側枝の勢力維持を優先する。先端部には長果枝や中果枝を確保し、弱小短果枝の切除を徹底する。  
ウ モモの新梢の初期生育を確保するため、翌春の着果管理(摘蕾、摘花、予備摘果)を徹底する。
- (7) 各樹種とも大雨により越冬する病原菌密度が増加していると考えられます。薬液の通りやすい枝の配置に留意して冬季せん定を行うとともに、翌春以降、薬剤防除と耕種的防除を組み合わせた総合的な対策を実施しましょう。

発行：福島県農林水産部農業振興課 TEL 024(521)7344

○農業振興課ホームページ：以下のURLより他の農業技術情報(生育情報、気象災害対策、果樹情報、特別情報)をご覧ください。

URL：<http://www.pref.fukushima.lg.jp/sec/36021a/>

